

# 青森県のがんの現状と必要ながん対策

弘前大学大学院医学研究科 医学医療情報学講座

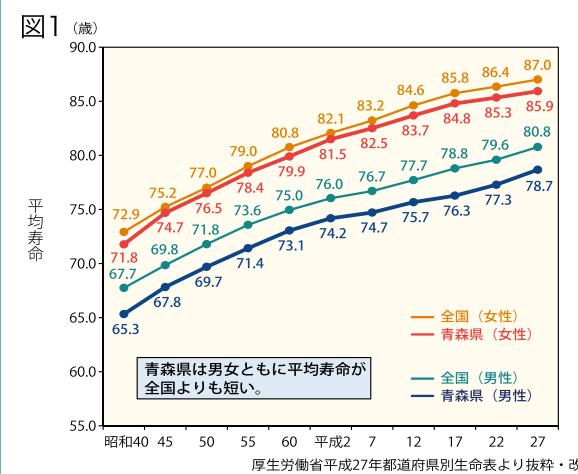
助教

田中 里奈

## 1. 青森県は短命県？

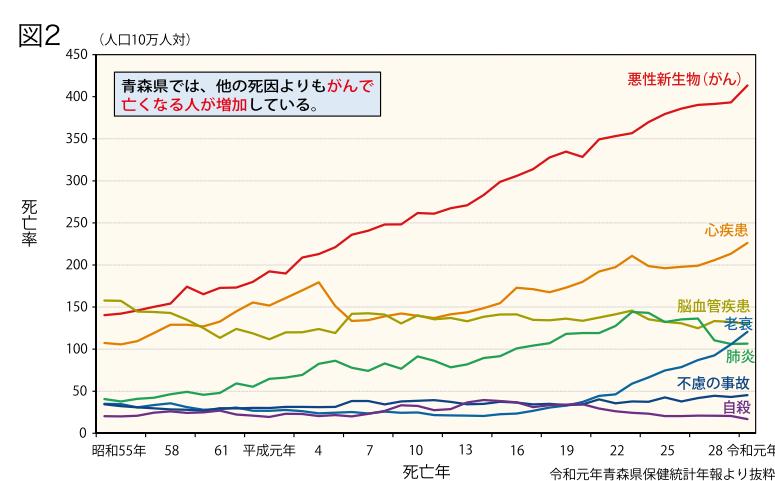
### (1) 青森県の平均寿命

「青森県は短命県」と、ここ数年でよく耳にするようになりましたが、実際のところ、どうなのでしょうか。実際



に青森県と全国の平均寿命を比べてみましょう（図1）。「平均寿命」とは、その年の〇歳児が何年生きられるのかを、病気や事故など様々な死因の影響を考慮して計算したもの。つまり、逆を言うと、病気や事故などによる死亡が少ないほど、平均寿命は長くなるということです。平均寿命は昭和40年から延長しています。もちろん、青森県の平均寿命も年々延長しているのですが、全国と比べると、青森県の平均寿命は男女ともに短いです。昔と比べると、病気などが減つて長生きされる人は増えたけれど、まだまだ全国平均ほどじゃないということですね。

**(2) 青森県で多い死因**  
それでは、寿命が短くなってしまう原因は何なのか。青森県の主な死因での死亡率（1年間に亡くなっている人の数）は、みてみましょう（図2）。一番特徴的なのは、悪性腫瘍（がん）の死亡者の増加です。心疾患、脳血管疾患も亡くなる人は多いのですが、がんほど死亡率は上昇しておらず、むしろほぼ横ばいです。このように、青森県では、がんで亡くなる人が増加しています。ちなみに、肺炎による死亡率もやや上昇しています。



ますが、これは今問題となっているC O V I D - 19 感染とは関係のない肺炎です。

**(3) 青森県のがん死亡率**  
青森県ではがんで亡くなる人が多いことはわかりました。つぎに全国と青森県のがんの死亡率を比べて、どのくらい多いのかをみましょう（図3）。がんの死亡率は男女ともに全国よりも高いだけではなく、残念ながら、その差は年々拡がっています。がんの死亡率は、女性よりも男性の方が通常高いのですが、青森県女性の死亡率は、全国女性の死亡率に追いつきそうで

す。がんは高齢者の方がなりやすい病気ですので、人口の高齢化率の高い青森県で、がんで亡くなる人が多いのは当然なのですが、この高齢化率の影響を取り除いてがんの死亡率を見る「年齢調整死亡率」でも、実は青森県は全国よりも高いのです（図4）。高齢化率の影響を取り除くと、がんの死亡率は年々減少しています。これは、がん検診を受けて早期に治療を受けることができる人が増えたからです。

**(4) もし、がんで死ななかつたら?**  
図5は、もしがんが亡くなる病気でなかつたら、どのくらい平均余命が伸びるのか

というデータです。「平均余命」とは、〇歳では平均でと何年生きることができるかという期待値を年齢ごとに計算したもの。これは青森県ではなく全国のデータですが、がんで亡くならなければ、40歳では男性3.5年、女性2.8年分、余命が伸びます。高齢にいくにつれて、伸びる余命は短くなります。これだけ、がんという病気が若い人の寿命へ与える影響は大きいのです。

